

佐志中学校だより

東天

Cha Cha Cha

気づき、考え、実行する生徒になろう

令和4年6月 第3号

文責：田中 泰博

～第42回体育大会 完全燃焼！～『粉骨砕身』～最後の最後まで前向きに～

5月28日（土）に開催した第42回体育大会。好天にも恵まれました。赤団・青団ともに応援リーダーの素晴らしい統率のもと、生徒1人1人が一生懸命に競技に臨む姿を見せてくれました。特に団体競技では、どの学年もみんなの心が1つになる場面を見せてくれて、生徒たちの「全力」は、見ている人に感動と元気を与えてくれました。まさに「ファインプレー」の連続の体育大会でした。応援合戦も両団ともに工夫が見られ、リーダーの動きに虎と九尾の狐のパネルが調和し、甲乙つけがたい素晴らしいものでした。2年生・1年生は、今年の体験を生かし、佐志中の伝統を継承してほしいと思います。



- 【体育大会各種結果・成績】**
- ・総合優勝（青団）
 - ・応援合戦優勝（青団）
 - ・パネル優勝（赤団）
 - ・団対抗佐志中リレー優勝（赤団）
 - ・学級対抗大綱引き 1年（青団）、2年（青団）、3年（青団）
 - ・3年団体「百足でGO！鈍行？急行？それとも快速？バランスでGO!」（赤団）
 - ・2年団体「Uber イーヤー！！」（青団）
 - ・1年団体「台風の目になれるか！なんでもやってみよう!」（青団）



～全国善行会表彰～ 佐志中生徒会が、快挙！全国で10団体の中に(^_^)

5月27日に『全国善行会』より表彰を受けました。文字通り、「善い行い」をした団体や個人に贈られる賞です。本校生徒会は、長年“中瀬公園花植え活動”に貢献しているということでこの活動を始められた八幡町内会長の坂本さんから当時のことを伺うと「中瀬公園を花や緑で彩り、地元の人たちの憩いの場となるよう始めた。最初の年は、かえでや桜などを植樹したが、枝を折られたり、いたずらをされたりすることもあった。そのうち花も植えるようになり、佐志中生とともに活動するようになった。続けてきた甲斐があった。」ということでした。全国善行会の佐賀県支部長の藤元様から生徒会本部役員に賞状と楯の伝達があり、副会長の太田和さんが、お礼の言葉を述べました。6月4日の佐賀新聞に記事が掲載されています。ピープルでも放映されました。



～少しずつ、ふつうの生活に(*^_^*)～

コロナ感染症は未だ治まる状況にはなく、感染者が減ったかと思えば、微増を繰り返す毎日。全国的にもマスクの着用や授業でのデスクシールドの制限は緩和されつつあります。ただ、間もなく中体連が始まります。コロナ感染症は、予防が第一。これまでの努力を感染症で止めないよう予防できる対策は続けていこうと思います。

そのような中、今年度は様々な学校行事を通常の形に戻つつあります。

「唐津市教育の日」。たくさんの保護者の皆様にご参観いただきました。学年毎に時間を分けての参観となりましたが、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。一生懸命に先生の話の話を聞いている生徒、こんな態度でいいのかな？と思った生徒もいたという保護者の声を聞きました。子どもたちの様子を見られて感じられたことを話題にして、お子様から学校やクラスの様子を聞いてみてください。また、3年生は、「進路説明会」を行いました。6月の初めに「ハイスクール・ウェビナー(映像配信による県立高校説明)」を視聴しています。これからは、夏期休業中に体験入学(オープンスクール)も実施されます。さらに、ここ数年入試制度も変更されています。自分の進路について考えなければならない時期がいよいよ現実味を帯びてきました。今回の説明会での資料をよくお読みいただき、お尋ねになりたいことはご遠慮なさらずに学校に問い合わせてください。

「生徒総会」を体育館で開催しました。生徒会役員、各部長、学級代表の細かい準備のお陰でスムーズに会が進行しました。ありがとうございました。生徒会役員の中にはたくさんの内容をメモしてかなりの時間をかけて準備している人もいました。自分の責任を果たすとともに佐志中向上に向けての熱い思いを改めて感じ取りました。

「私立高校説明会」3年生が長時間にもかかわらず、説明をしっかりと聞いてくれたと高校の先生が感心していらっしゃいました。校長室が控室でしたが、高校の先生とお話をしていると、高校では就職活動に備えるにあたり、身につけておかなければならない次の4つのことを教えていただきました。

①新聞記事程度の漢字の読み書き ②返事と挨拶 ③自分の考えが言える ④日常的に敬語が使える

これらは、誰もができることであり、中学生でもできて当たり前のことですねとお話ししました。社会人を目の前にしたこれらのことは、わざわざ勉強して身につけることではないように思います。

「ラブアースクリーンアップ」

佐志浜と幸多里の浜での活動でした。1/3の生徒が参加しました。一般の方や事業所も参加されていました。佐志浜では、受付時間より早く来て参加し、汗だくになって頑張った生徒もいました。佐志浜では、岩の間に挟まったゴミを一生懸命に手を伸ばして取っていました。終わってみれば、信じられないくらいたくさんのゴミが集められていました。本校が取り組んでいるSDGs活動の大切さを改めて感じる事ができた活動でした。



ちょっといい話 (学校生活の中から)

本校の生徒玄関には、たくさんのプランターが並んでいます。毎日、技術科の大倉先生が、水やりや花の手入れをされているので、きれいに咲いています。そのプランターの横に、小さなポットが並んでいます。技術科で育てる唐辛子の苗だそうです。毎朝、2年生の竹原康平君が、その1つ1つに水やりをしてくれています。当番でもなく、誰かに頼まれたわけでもなく、自主的に活動してくれています。彼の姿を皆さんも目にしたことがあるでしょう。さりげなくできる活動。まさしくボランティア活動ではないでしょうか。